

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

2026年2月公表

事業所名 ハッピーテラス東三国教室

チェック項目		はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1.利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	基準の2倍以上（1名あたり5.36m <sup>2</sup> ）を確保しています。	
	2.利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	83.3%	16.7%	0.0%	3名の指導員を配置しています。	職員の休暇時も十分な人員を配置できる等、柔軟な体制の確保を目指します。
	3.生活空間は子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	83.3%	16.7%	0.0%	各部屋を分け、明示して構造化を図っています。事業所は5階にあります。エレベーターが利用可能で車椅子利用対応がなされていなことがあります。	段差はないものの、特にトイレ等で車椅子利用対応がなされていなことが課題です。
	4.生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	0.0%	活動に合わせた都度のレイアウト調整・整理整頓を実施しています。	
	5.必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	0.0%	0.0%	静養室や相談室を備えており、必要に応じて活用しています。	
	6.業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100.0%	0.0%	0.0%	月初の職員会議や毎日の打ち合わせを開催して、目標設定や振り返りを議論し、業務改善を図っています。	
	7.保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎年保護者アンケート調査を実施し、業務改善を図っています。	
	8.職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎年の自己評価アンケート調査の実施や、個別の定期面談の実施をしています。	
	9.第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33.3%	50.0%	16.7%	現在は第三者による外部評価を行っていませんが、ハッピーテラスグループ相互の情報共有によって業務改善を図っています。	
	10.職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	計画を策定し、毎月事業所内勉強会を実施しています。また、外部研修にも積極的に参加し、内容を職員間で共有しています。	
業務改善	11.適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	2025年2月に公表しております。	
	12.個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時の他、6か月に一度以上の保護者面談を実施し、定期的に保護者のニーズ、現状の課題等をお聞きしてから分析を行い、計画の策定を行っています。□	
	13.放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者面談に指導員も同席した上で実施し、個別支援計画策定会議にて全員で内容の確認を行っています。	
	14.放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	個別支援計画策定会議にて共有の上、管理システム上で常に確認できるようになっています。	
	15.子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	ご利用開始前に独自のアセスメントツールを使用し、標準化された指標の下でご利用者の状況を把握することに努めています。	
	16.放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	個別支援計画にてそれぞれの支援内容に分類して策定しています。	
	17.活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎週の活動プログラムの検討会議と、支援前のデイリー会議を行い、チームで活動プログラムの立案を行っています。	

適切な支援の提供	18	18.活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	活動テーマが週毎に変わるように計画した上、週の中でも同じ活動内容にならないよう、毎日取り組む内容を工夫しています。	
	19	19.子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	集団活動を中心に行っていますが、ニーズを把握した上で必要に応じて、個別活動も行っています。	中高生のご利用者様が多くなってきている中で、年齢に応じたプログラムの実施も検討しております。
	20	20.支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	その日行う支援の内容やプログラムの内容、目的や具体的な手立て、役割分担について、支援にあたる指導員全體で確認し議事録に残しています。	
	21	21.支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	支援終了後に振り返りを行い、ご利用者一人一人の支援日誌を記録しています。支援の振り返りの会議は、翌営業日に実施しています。	
	22	22.日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	ご利用者一人一人に対し、統一された記録方法を用いて支援計画の進捗がわかるように記録しています。また、保護者からの情報もこまめに記録をするようにしています。	
	23	23.定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	日々の支援記録から毎月の振り返りを行って短信を作成、放課後等デイサービス計画の見直しについて検討を行っています。振り返りの結果は書面で毎月保護者に発行しています。	
	24	24.放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	生活スキル、社会性スキルの向上を目的とした集団活動の他に、製作や外出イベント等を組み合わせることで、基本活動を網羅できるよう配慮しています。	
	25	25.子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	日々の療育支援全般において、支援者の押し付けではなく、子どもの自己決定を重視した支援を心がけています。	
	26	26.障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	児童発達支援管理責任者を中心として、その他にも最もふさわしい職員が参画するようにしています。	
	27	27.地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	0.0%	0.0%	自立支援協議会等で事業所管の連携の他、保護者を起点とした情報共有も必要に応じて実施しています。	
関係機関や保護者との連携	28	28.学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	学校への送迎をしておらず直接の情報共有は少ないため、主に保護者を介したり、個別に学校へ訪問して情報共有しています。行事予定等についてはHPやメールも活用して把握を行っています。	
	29	29.就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83.3%	0.0%	16.7%	主に相談支援事業所を通じて情報把握を行っています。	
	30	30.学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	66.7%	0.0%	33.3%	高校卒業後の進路について、保護者からの聞き取りにより把握するよう努めています。	
	31	31.地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	83.3%	0.0%	16.7%	大阪市発達障がい者支援センター「エルムおおさか」の訪問支援研修を活用したり、センター主催の研修・講演会へ参加したりしています。	
	32	32.放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0.0%	50.0%	50.0%		
	33	33.（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	83.3%	0.0%	16.7%	大阪市淀川区自立支援協議会こども支援部会へ参画し、地域福祉の情報収集と共有に努めています。	

	34,日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	日々の送迎時に、お子さまの状況についてお伝えしています。また、6ヶ月に1度以上の定期的な保護者面談の他、緊急時や必要な場合には、その都度面談を行っています。	
	35,家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33.3%	33.3%	33.3%	都度のご相談の際や定期面談の際に、具体的な支援方法やお子さまとの関わり方をアドバイスさせていただいている。	教室主体での研修等は実施しておりませんが、定期的にご家族が参加できる研修の開催案内や情報提供を行っております。
保護者への説明責任等	36,運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時に、書面を用いてできる限り丁寧に説明を行っています。また、運営規程及び重要事項説明書を教室入口に掲示し、周知を図っています。	
	37,放課後等ティーサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	0.0%	必ず保護者面談を対面で実施し、意向を確認しています。	
	38,「放課後等ティーサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等ティーサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	0.0%	面談等の機会に支援計画の内容を確認し同意いただき、署名いただいている。	
	39,家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	主に定期面談の際にお話を伺い、できる限り助言をさせていただいている。	
	40,父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16.7%	50.0%	33.3%	事業責任者が親の会（大阪LD親の会）に参加し、情報収集／提供を行っています。	事業所が主催の保護者会等は実施していませんが、今後ニーズを聞き取りながら検討していきます。
	41,こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	苦情受付担当者と解決責任者を設置し、体制を整備しております。また、その内容については利用契約時に説明を行うと共に教室入口に掲示し、周知を行っています。	
	42,定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎月会報を発行し、活動概要、行事予定、諸連絡事項を発信しています。また、イベント案内等につきましては、教室入口にも掲示し、周知を行っています。	
	43,個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	職員は雇用契約時に個人情報保護に関する誓約書の提出を行うとともに、情報保護に関する研修を受講しています。保護者様に対しては、契約時に個人情報の取り扱いについてご説明の上、同意書に署名を頂いています。	
	44,障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	視覚優位、聴覚優位などの特性を理解した上で情報伝達の方法に配慮を行っています。重要事項説明書については、ルビ版・拡大文字版等も準備しています。	
	45,事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50.0%	16.7%	33.3%	過去には保護者向けの講演会を主催し、地域の方も含めて招待して実施をしました。	
	46,事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	マニュアルを策定し、教室事務所内に保管すると共に勉強会等の機会に職員への周知徹底を行っています。保護者様への周知については、利用契約時に契約事項と併せ、緊急時における対応方法のご説明を行っています。	
	47,業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	BCPを策定し、年2回の防災訓練を行っています。また、訓練の内1回は近隣消防署の職員にお越しいただき、消火器の使い方等の訓練も実施しています。	
	48,事前に、服薬や予防接種、てんかん发作等の子どもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	初回面談時に確認して、記録を残しています。	

非常時等の対応	49,食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者への聞き取りによってアレルギーを把握し、書面に残して対応しています。	現在、医師の診断書が必要な生徒の利用はありませんが、今後必要に応じて対応を行ってまいります。
	50,安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	安全計画を策定し、研修と訓練を9月に実施しています。	
	51,こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時の面談で保護者に説明しています。	
	52,ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	発生したヒヤリハットについて、即時にヒヤリハット報告書にまとめ、全職員確認の上、事例集として管理しています。	
	53,虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	虐待防止委員会を設置し、年1回の虐待防止チェックリストを実施しています。また、児童虐待、施設内虐待、障害者虐待について定期的な勉強会を行っています。	
	54,どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83.3%	0.0%	16.7%	利用契約時に、重要事項として説明を行っています。現在、具体的に身体拘束を必要とするご利用者はいない為、放課後等デイサービス計画への記載のケースはありません。	

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。